

平成29年度 大学院人文科学府修士課程第1期入学試験問題
(言語学)

問1の解答は1枚目の解答用紙、問2は2枚目の解答用紙、問3は3枚目の解答用紙、問4は4枚目の解答用紙に書くこと。その際、問1-1などと記し、どの問に対する解答かを明示すること。

問1.

次のデータは、Alabamanのものです。下の設問に答えなさい。

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| a. [hõmma:] ‘red’ | n. [tʰa:tʰa:] ‘father’ |
| b. [pʰosno:] ‘we’ | o. [tʰãnkʰa:] ‘dark’ |
| c. [o:la:] ‘town’ | p. [alotkʰa:] ‘full’ |
| d. [okkʰi:tʰatkʰa:] ‘sea’ | q. [homa:] ‘bitter’ |
| e. [kʰolbi:] ‘basket’ | r. [pʰotʰa:] ‘to shoot’ |
| f. [hotʰi:ɰi:] ‘star’ | s. [ĩmpʰi:tʰi:] ‘breast’ |
| g. [hatkʰa:] ‘white’ | t. [ittʰo:] ‘tree’ |
| h. [tʰĩnna:] ‘dull’ | u. [ikba:] ‘hot’ |
| i. [ĩnkʰa:] ‘to give’ | v. [pʰa:ni:] ‘creek’ |
| j. [kʰopli:] ‘water glass’ | w. [ola:] ‘to chirp’ |
| k. [oktʰakkʰo:] ‘green, blue’ | x. [alfabi:] ‘left arm’ |
| l. [itʰospʰa:] ‘knee’ | y. [kʰano:] ‘good’ |
| m. [na:tʰi:] ‘tooth’ | z. [tʰaji:] ‘woman’ |

(Rand, Earl (1968) The Structural Phonology of Alabaman, A Muskogean Language.
International Journal of American Linguistics, vol. 34-2, pp. 94-103. の表記を若干改変)

[問1-1]

a, b, d, k, p について、例にならって、ドットで音節境界を示しなさい。

例: [gej.go.ya.ku]

[問1-2]

長母音の分布について、どういう規則性があるか述べなさい。

[問1-3]

有気音の分布について、どういう規則性があるか述べなさい。

[問1-4]

鼻母音の分布について、どういう規則性があるか述べなさい。

問 2.

次の文章を読み、問いに答えなさい。

著作権保護のため、この Web 公開版では問題文を削除した。

[問 2 - 1]

空欄 (plainly のあと) に入る表現として適切なものを選びなさい。

- a. insufficient for the definition of word.
- b. both necessary and sufficient.
- c. sufficient but not necessary.

[問 2 - 2]

下線部を和訳しなさい。

問3.

次の2つの文の連体修飾節については、その派生において異なる操作が関わっているという立場(A)と、必ずしも異なる分析をする必要がないという立場(B)とがあります。

昨日ジョンが負けた相手は、今日は来ていない。

昨日ジョンが負けたというニュースが、もうすっかり広まっていた。

それぞれ、どういう点に注目した立場であるかを解説した上で、自分としては、A・Bどちらの立場が適切だと思うか、理由をそえて述べなさい。

問4.

次の用語のうち、3つ選んで簡潔に説明しなさい。どの用語について説明しているかわかるように、用語を明記してから説明をはじめること。

- a. Animacy Hierarchy
- b. c-command
- c. phoneme
- d. clitic
- e. theta role
- f. pitch accent